

講演者

**風間 真 氏**（長崎大学熱帯医学研究所生物資源室助教）

**【略歴】**

1997年3月神奈川大学理学部応用生物科学科卒業。神奈川大学大学院理学研究科博士後期課程を中途退学（2003年）。神奈川大学理学部 特別助手(2003～2012年度)。2013年3月に論文審査を経て博士（理学）の学位を取得。2013年度に神奈川大学理学部非常勤講師。2014年度から東海大学医学部 博士研究員と日本体育大学 非常勤講師を兼務し、2017年6月より現職。

講演内容

演題：寄生原虫と奇妙なミトコンドリアの話

**【要旨】**

寄生原虫とは、マラリアやアフリカ眠り病の病原となる生物を含む、寄生性の原生生物を指す。寄生原虫の研究は原虫病の予防や克服に役立つはずであるが、研究にはその材料となる寄生原虫が必要である。日本ではNBRP（ナショナルバイオリソースプロジェクト）が研究機関へ寄生原虫の単離培養株を提供しており、演者はその実務を担当している。本講演ではNBRPの業務と、この仕事に関わるきっかけとなった奇妙なミトコンドリアについて紹介する。